



玄門の主神無極混元三聖大天尊

道蔵記によれば、始め天地は混沌としていた。陰陽の二気も存在せず、天地も日・月も存在しなかった。このような虚無、虚空の状態の時に、最高主宰である、無極混元玄玄上人大天尊(上帝)によって萬物が生ずる根源である宇宙を創造されました。

道曰：一は二を生む、二は三を生む、三はすべてのものを生み出す。

一と言うのは無極混元玄玄上人大天尊= (先天一炁) のこと。

二と言うのは無極混元木公老祖大天尊と無極混元老母大天尊のこと。

無極混元木公老祖大天尊は^{※①}至陽の氣である。

無極混元老母大天尊は至陰の氣である。

無極混元玄玄上人大天尊、無極混元木公老祖大天尊、無極混元瑤池老母大天尊三元一体を合わせて、無極混元三聖大天尊といい、玄門を創立されました。

※① 至=質純無瑕。無瑕=きず、欠点がないこと。